

産業経済部長（上下水道局長）の仕事宣言！

産業経済部長・上下水道局長 白水隆弘

1. リーディングプロジェクト実現のための部局の基本姿勢

産業経済部は、農林・商工振興・建設・維持管理・国道及び上水道・下水道について担当しています。

農林行政は、施設整備や機械導入、農地集積などを進めるとともに、農産物の地産地消や消費拡大などを推進します。

商工振興行政は、新たな産業の受け皿となる新産業集積エリアを整備するための新産業集積エリア事業推進室を設け整備の促進を図るとともに、雇用機会の確保に努め、市内企業の支援を行います。

また、商店街の活性化のための支援を行うとともに文化・スポーツなどコンベンション誘致に努めます。

建設行政は、主要幹線道路の効果的・効率的整備を関係機関と一体となって取り組むとともに、長期未着手の都市計画道路の見直しに着手します。

また、維持管理課を新設し生活道路や通学路の交通安全対策及び市道・河川の管理の充実に努めます。

上水道は、ライフラインの根幹である、安全で安心して飲めるおいしい水の安定供給に取り組めます。

下水道は、すべての市民の皆様が水洗トイレを利用できる事を目指し、公共下水道事業・農業集落排水事業・浄化槽処理事業の整備を行い、併せて計画的な処理施設更新に取り組んでまいります。

2 リーディングプロジェクト10の内容

●リープロ10の名称〔3 安全で安心なまちをつくるプロジェクト〕

- ①交通弱者の移動手段の確保に努めます（国道交通対策課、社会福祉課）
- ②国道・県道の整備を進めます（建設課、国道・交通対策課）
- ③機能を重視した効率的な道路整備を進めます（建設課）
- ④生活道路の整備を行います（建設課）
- ⑤小学校周辺交通安全対策を進めます（維持管理課）

●リープロ10の名称〔8 活力とにぎわいのあるまちをつくるプロジェクト〕

- ①地産地消の取組を進めます（農林課）
- ②農産物のブランド化を図ります（農林課）
- ③魅力ある商店街づくりを進めます（商工振興課）
- ④観光客の受け入れ体制づくりを行います（商工振興課）
- ⑤新産業の集積を図ります（商工振興課）

3 リーディングプロジェクト 10 の行動目標

●リープロ 10 の名称〔3 安全で安心なまちをつくるプロジェクト〕

具体的取組名

- ①交通弱者の移動手段の確保に努めます
- ②国道県道の整備を進めます
- ③機能を重視した効率的な道路整備を進めます
- ④生活道路の整備を行います
- ⑤小学校周辺交通安全対策を進めます

市民の移動を支える公共交通機関の利便性の向上を図ります。

通過自動車交通の処理や幹線・生活道路整備のための道路網の効果的・効率的整備を関係機関と一体となり進めるとともに、生活道路の安全・快適な整備を推進します。

「②国道県道の整備を進めます。」

○指標

(項目名) 国道・県道整備延長距離

〔5年後〕現状値 3.3 km ⇒ 平成32年度 6.5 km

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

国道3号については、「鳥栖拡幅」、「鳥栖久留米道路」の整備促進と未整備区間（鳥栖拡幅以北及び以南）の整備計画策定、国道34号については、バイパスの整備計画策定を国へ要望していきます。

「③機能を重視した効率的な道路整備を進めます。」

○指標

(項目名) 事業進捗率（事業費ベース）

〔5年後〕現状値 1% ⇒ 平成32年度 78%

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

市道 田代大官町・萱方線及び市道 轟木・衛生処理場線の道路改良事業の推進を図ります。

「⑤小学校周辺交通安全対策を進めます。」

○指標

(項目名) 小学校周辺交通安全対策整備延べ路線数

〔5年後〕現状値 16路線 ⇒ 平成32年度 39路線

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

小学校周辺の通学路でかつ、歩道のない市道路側帯のカラー舗装化を行います

3 リーディングプロジェクト 10 の行動目標

●リープロ 10 の名称〔8 活力とにぎわいのあるまちをつくるプロジェクト〕

具体的取組名

- ①地産地消の取り組みを進めます
- ②農産物のブランド化を図ります
- ③魅力ある商店街づくりを進めます
- ④観光客の受け入れ体制づくりを行います
- ⑤新産業の集積を図ります

市内に新たな産業用地を整備し、経済の活力を高めます
新鮮なブランドの農産物や地元の農産物を加工提供するための仕組みづくりを推進します。
元気で便利な商店街づくりをめざし、大型店との共存を図りながら多様な消費者ニーズに対応した事業主の主体性のある商店街の魅力向上に取り組めます。
観光資源と中心市街地とを結んだ観光客の受け入れ体制を構築します。

「①地産地消の取り組みを進めます。」

○指標

(項目名) 生産者と消費者の交流会数

〔5年後〕現状値 8回 ⇒ 平成32年度 8回

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

新鮮で安全・安心な地場産の農産物の生産及び販売による消費拡大と、生産者と協力し、農業体験や学校給食等を通じ、地産地消を推進します。

「②農産物のブランド化を図ります。」

○指標

(項目名) 野菜作付面積

〔5年後〕現状値 84ha ⇒ 平成32年度 89ha

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

基幹作物である米・麦・大豆に加え、野菜等の産地づくりを進めるとともに、農作物の高品質化等の付加価値により、ブランド化を図ります。

「③魅力ある商店街づくりを進めます。」

○指標

(項目名) 中心商店街の空き店舗比率

[5年後] 現状値 13.1% ⇒ 平成32年度 5.0%

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

鳥栖市商業活性化推進協議会、鳥栖市商店街連合会が取り組む活動に掛かる経費を補助し、支援を行うことで、魅力ある商店街づくりを進めます。

「④観光客の受け入れ体制づくりを行います。」

○指標

(項目名) 観光施設・イベント等の集客数

[5年後] 現状値 1,187,911人 ⇒ 平成32年度 6,800,000人

※平成27年度から、鳥栖プレミアム・アウトレット来場者(550万人)を追加。

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

鳥栖観光コンベンション協会等と一体となって新鳥栖駅観光案内所や鳥栖プレミアム・アウトレットでのおもてなし体制を整え、市内観光情報等の発信を行います。

「⑤新産業の集積を図ります。」

○指標

(項目名) 製造品出荷額等

[5年後] 現状値 3,381億円 ⇒ 平成32年度 3,930億円

○平成28年度に具体的に何をしていくのか

企業誘致の受け皿となる新産業集積エリア整備事業を着実に推進し、平成32年度内に産業用地の分譲に向け、用地取得及び造成工事等に努めます。